

<資産成長型・為替ヘッジあり>

第4期末 (2023年6月20日)	
基準価額	9,393円
純資産総額	898百万円
騰落率	2.3%
分配金	0円

<資産成長型・為替ヘッジなし>

第4期末 (2023年6月20日)	
基準価額	12,576円
純資産総額	12億円
騰落率	13.0%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

東京都千代田区丸の内1-6-6

# ニッセイ／シュロージャー・ グローバルCBファンド

(資産成長型・為替ヘッジあり)

(資産成長型・為替ヘッジなし)

【愛称】 攻防兼備

追加型投信／内外／その他資産 (転換社債)

## 運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2022年6月21日～2023年6月20日

第4期 (決算日 2023年6月20日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／シュロージャー・グローバルCBファンド (資産成長型・為替ヘッジあり) / (資産成長型・為替ヘッジなし)」は、このたび第4期の決算を行いました。

各ファンドは、「シュロージャー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり / 為替ヘッジなし」への投資を通じて、日本を含む世界のCB (転換社債) を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

# 運用経過

2022年6月21日～2023年6月20日

## 基準価額等の推移



第4期首	9,182円	既払分配金	0円
第4期末	9,393円	騰落率(分配金再投資ベース)	2.3%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## ■基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・ 期初から8月中旬にかけて、インフレ懸念の後退や米長期金利の低下、米主要テクノロジー企業の好業績などを受けて世界株式市場が上昇する中、CB市場も追隨して上昇したこと
- ・ 10月から2月上旬にかけて、欧米中央銀行の利上げペース減速に対する期待感や懸念されていたほど悪化していない景気動向などから世界株式市場が上昇し、CB市場も追隨して上昇したこと

### <下落要因>

- ・ 8月下旬から9月末にかけて、欧米中央銀行の積極的な金融引き締めや高インフレの持続、景気悪化への懸念などから世界株式市場が下落し、CB市場も下押し圧力が強まったこと
- ・ 2月中旬から3月中旬にかけて、欧米の利上げ長期化観測の高まりや米地銀の経営破綻に端を発した金融機関への信用不安の高まりなどから世界株式市場が下落し、CB市場にも下押し圧力が生じたこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第4期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	104円	1.116%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,307円です。
(投信会社)	( 30)	(0.319)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 72)	(0.770)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 1)	(0.011)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	105	1.127	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

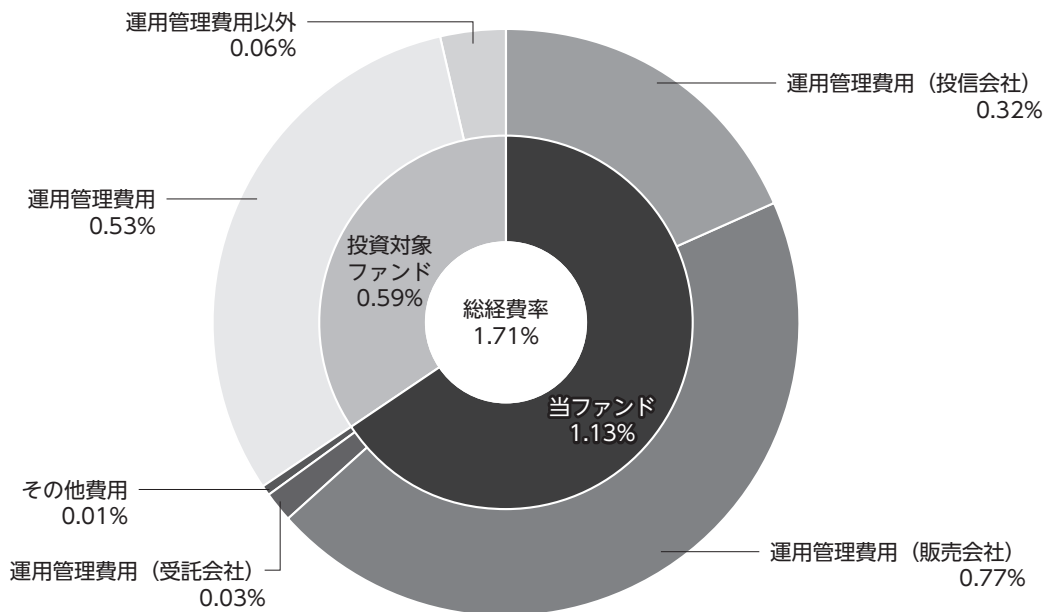
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

## （参考情報）

## ■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.71%**です。



総経費率 (①+②+③)	1.71%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.53%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

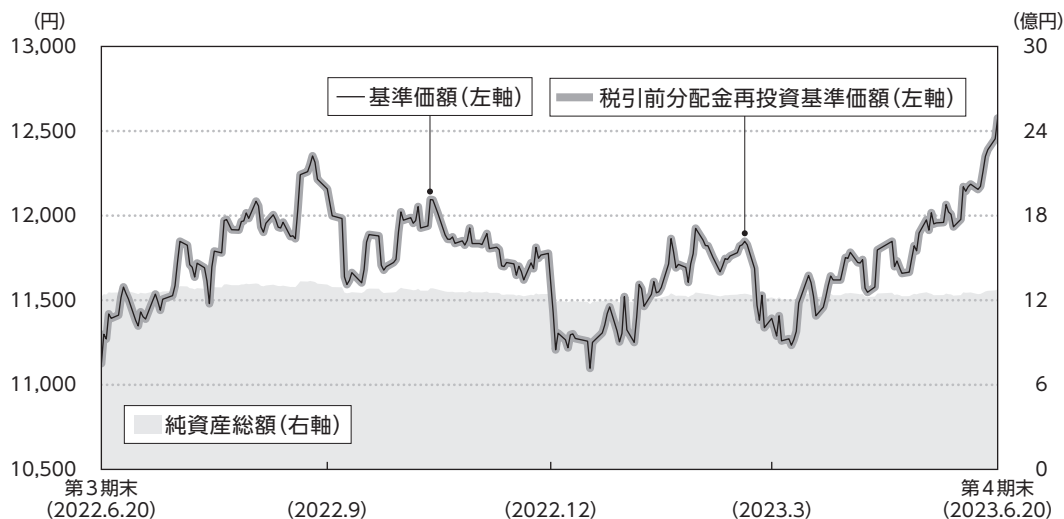
(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 基準価額等の推移



第4期首	11,126円	既払分配金	0円
第4期末	12,576円	騰落率(分配金再投資ベース)	13.0%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## ■基準価額の主な変動要因

## &lt;上昇要因&gt;

- ・ 期初から8月中旬にかけて、インフレ懸念の後退や米長期金利の低下、米主要テクノロジー企業の好業績などを受けて世界株式市場が上昇する中、CB市場も追随して上昇したこと
- ・ 3月下旬から当期末にかけて、底堅い米雇用統計などを受け米連邦準備制度理事会(FRB)による利下げ期待が後退し、米ドル高円安基調で推移したことや、欧州中央銀行(ECB)の利上げに積極的な姿勢などを受けてユーロ高円安基調で推移したこと

## &lt;下落要因&gt;

- ・ 9月中旬から9月末にかけて、欧米中央銀行の積極的な金融引き締めや高インフレの持続、景気悪化への懸念などから世界株式市場が下落し、CB市場も下押し圧力が強まったこと
- ・ 2月中旬から3月中旬にかけて、欧米の利上げ長期化観測の高まりや米地銀の経営破綻に端を発した金融機関への信用不安の高まりなどから世界株式市場が下落し、CB市場にも下押し圧力が生じたこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第4期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	131円	1.116%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,730円です。
(投信会社)	( 37)	(0.319)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 90)	(0.770)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.010	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 1)	(0.010)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	132	1.126	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

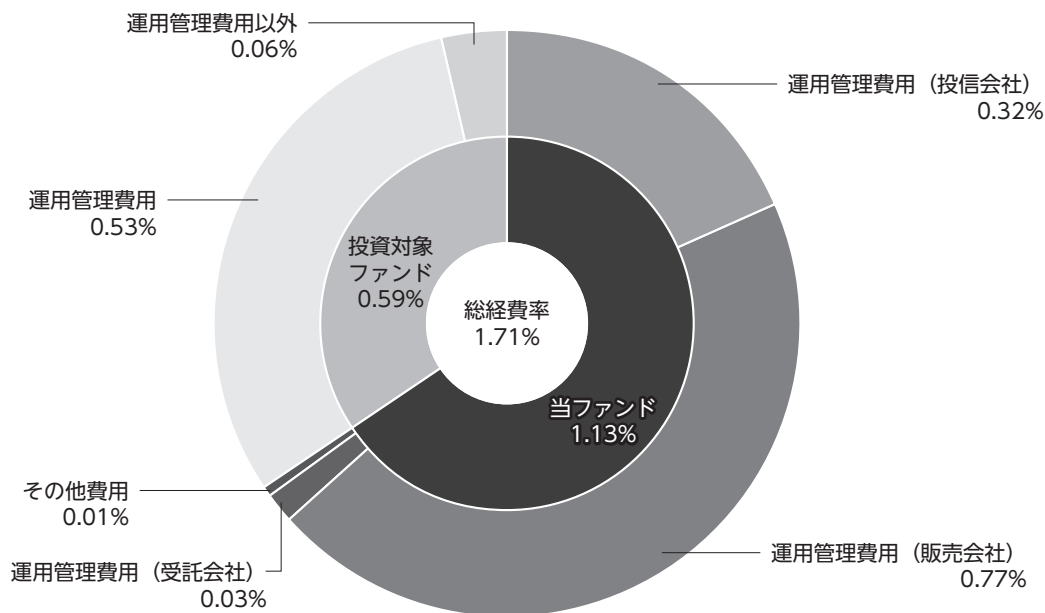
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

## （参考情報）

## ■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.71%**です。



総経費率（①+②+③）	1.71%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.53%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

### ■グローバルC B市況

当期のグローバルC B市場は期を通じて見ると上昇しました。期初から8月中旬にかけて、インフレ懸念の後退や米長期金利の低下、米主要テクノロジー企業の好業績などを受けて世界株式市場が上昇する中、C B市場も追随して上昇しました。9月末にかけては、欧米中央銀行の積極的な金融引き締めや高インフレの持続、景気悪化への懸念などから世界株式市場が下落し、C B市場も下押し圧力が強まりました。10月から2月上旬にかけては、欧米中央銀行の利上げペース減速に対する期待感や懸念されていたほど悪化していない景気動向などから世界株式市場が上昇し、C B市場も追随して上昇しました。その後3月中旬にかけては、欧米の利上げ長期化観測の高まりや米地銀の経営破綻に端を発した金融機関への信用不安の高まりなどから世界株式市場が下落し、C B市場にも下押し圧力が生じました。当期末にかけては、C B市場は上昇基調で推移しましたが、世界株式市場に対する上昇追随力をやや欠いた動きとなりました。

### ■為替市況

当期の米ドル／円相場は期を通じて見ると米ドル高円安となりました。期初以降、米長期金利の低下などから米ドルが対円で下落する場面もありましたが、利上げに積極的なFRBと金融緩和を維持する日銀の金融政策の方向性の違いなどから、米ドル高円安基調で推移しました。11月から1月にかけてはFRBによる積極的な利上げ観測の後退や日銀による長期金利の変動幅の拡大などを受け、米ドル安円高となりました。2月以降はFRBによる積極的な利上げ観測の高まりや日銀総裁就任前の植田氏が金融緩和継続を支持したことなどから、米ドル高円安となりました。その後、欧米信用不安などから米ドルは対円で下落しましたが、当期末にかけては底堅い米雇用統計などを受けFRBによる利下げ期待が後退し、米ドル高円安基調で推移しました。

当期のユーロ／円相場は期を通じて見るとユーロ高円安となりました。期初から7月末にかけては欧州の景気の不透明感の高まりなどからユーロ安円高で推移しましたが、8月以降は利上げに積極的なECBと金融緩和を維持する日銀との金融政策の方向性の違いなどからユーロ高円安基調となりました。その後、日銀による長期金利の変動幅の拡大や欧米信用不安などを受けてユーロが対円で下落する場面もありましたが、日銀総裁就任前の植田氏が金融緩和継続を支持したことやECBの利上げに積極的な姿勢などを受けて、ユーロ高円安基調で推移しました。



## ポートフォリオ

### ■資産成長型・為替ヘッジあり

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

### ■資産成長型・為替ヘッジなし

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジなし」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

### ■シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

\*主な投資対象となる「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」のマザーファンドについての説明であり、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の資料（現地における当期末基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

主に日本を含む世界のCBに投資を行いました。なお、《為替ヘッジあり》については、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

#### <業種配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に情報技術（28.1%）、資本財・サービス（17.1%）、ヘルスケア（15.4%）としています。

#### <国・地域別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順にアメリカ（44.5%）、日本（12.8%）、ケイマン諸島（6.0%）としています。

#### <通貨別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に米ドル（60.6%）、ユーロ（22.5%）、円（12.9%）としています。

（注1）比率はすべて対組入債券評価額比です。

（注2）業種はGICS（世界産業分類基準）による分類ですが、GICS分類が不明な場合はブルームバーグ業種分類（BICSレベル1）を基に分類しています。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

（注3）国・地域はシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の分類（設立地・登記国基準）によるものです。

### ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

## ベンチマークとの差異

### ■資産成長型・為替ヘッジあり

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

### ■資産成長型・為替ヘッジなし

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

### ■資産成長型・為替ヘッジあり

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。  
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

#### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2022年6月21日～2023年6月20日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	891円

### ■資産成長型・為替ヘッジなし

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。  
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

#### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2022年6月21日～2023年6月20日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,576円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 今後の運用方針

## ■資産成長型・為替ヘッジあり

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

## ■資産成長型・為替ヘッジなし

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジなし」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

## ■シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

欧米信用不安を受けて銀行の貸し出し態度が厳格化しており、高インフレと高い金利水準が続いていることもあり、景気への下押し圧力が強い環境は継続しています。企業の経営活動が保守的になる環境は続いており、引き続き金融市場の不安心理は大きくなりやすいことから、過度な楽観には注意が必要と判断しています。また、景気後退への懸念や、各国中央銀行の金融政策の変化などから、金融市場のボラティリティ（価格変動性）は今後も高まると見えています。

そのような状況下で、株式と債券の特性を併せ持ったCBへの投資は、株式市場の上昇局面では株式の上昇に一定程度追随し、下落相場では下値を抑制するという点で魅力的であると考えます。今後の景気後退局面においては、下値を抑制するというCBの特性が発揮されることが予想されます。今後も市場の動向を注視しつつ、より魅力的なCB銘柄の発掘に努めてまいります。

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」では、主に日本を含む世界のCBに投資を行います。なお《為替ヘッジあり》については、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

## ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

# ファンドデータ

## ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド（資産成長型・為替ヘッジあり）の組入資産の内容

### ■組入ファンド

	第4期末 2023年6月20日
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	98.8%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

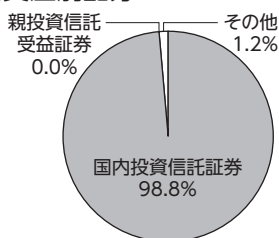
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### ■純資産等

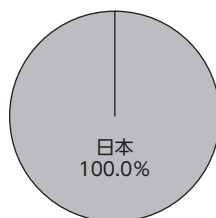
項目	第4期末 2023年6月20日
純資産総額	898,266,464円
受益権総口数	956,327,347口
1万口当たり基準価額	9,393円

(注) 当期間中における追加設定元本額は48,175,267円、同解約元本額は162,269,329円です。

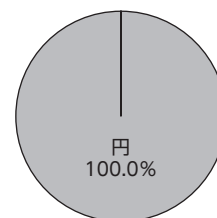
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年6月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## ニッセイ／シュローター・グローバルCBファンド（資産成長型・為替ヘッジなし）の組入資産の内容

### ■組入ファンド

	第4期末 2023年6月20日
シュローター・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	98.5%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

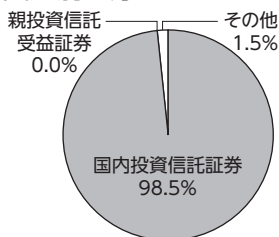
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### ■純資産等

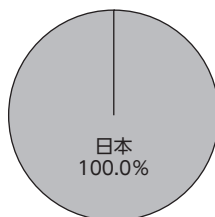
項目	第4期末 2023年6月20日
純資産総額	1,276,729,218円
受益権総口数	1,015,211,482口
1万口当たり基準価額	12,576円

(注) 当期間中における追加設定元本額は34,562,753円、同解約元本額は120,327,083円です。

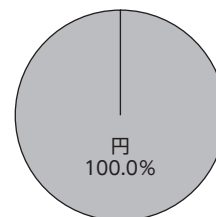
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分

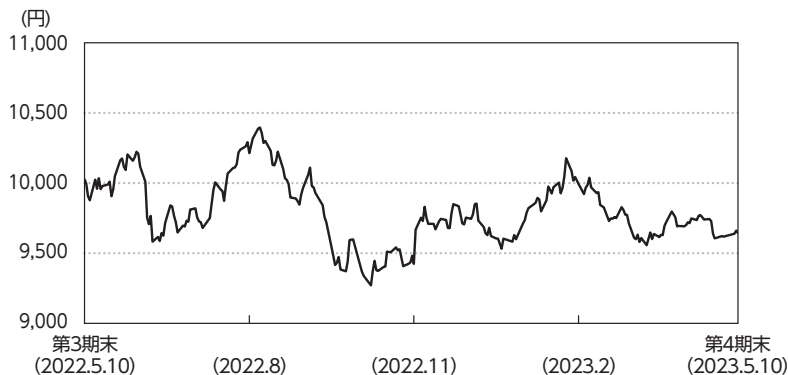


(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年6月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなしの概要

<シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり>

### ■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



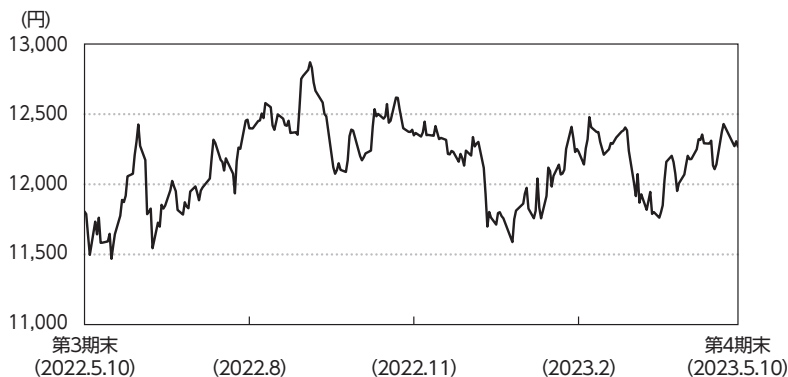
### ■ 1万口当たりの費用明細

2022.5.11～2023.5.10

項目	金額
信託報酬	52円
（投信会社）	(49)
（販売会社）	( 0)
（受託会社）	( 3)
その他費用	6
（保管費用）	( 3)
（監査費用）	( 1)
（印刷費用）	( 1)
（その他）	( 0)
合計	58

<シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジなし>

### ■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



### ■ 1万口当たりの費用明細

2022.5.11～2023.5.10

項目	金額
信託報酬	65円
（投信会社）	(61)
（販売会社）	( 0)
（受託会社）	( 3)
その他費用	7
（保管費用）	( 3)
（監査費用）	( 2)
（印刷費用）	( 2)
（その他）	( 0)
合計	72

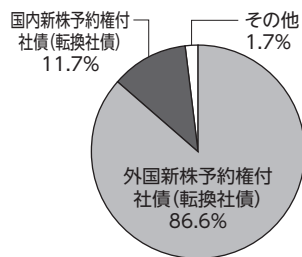
(注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化していません。

(注2) 1万口当たりの費用明細は、投資信託証券の直近の決算期のものであります。費用項目の概要については運用報告書（全体版）の1万口当たりの費用明細をご参照ください。

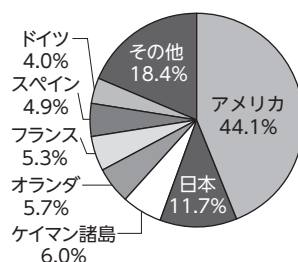
## ■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
FORD MOTOR 0% CB	米ドル	2.3%
AMERICA MOVIL 0% CB	ユーロ	2.1
QIAGEN NV 0% CB	米ドル	1.9
DEXCOM INC 0.25% CB	米ドル	1.8
MONGODB INC 0.25% CB	米ドル	1.7
CELLNEX TELECOM 0.5% CB	ユーロ	1.7
ANLLIAN CAPITAL 0% CB	ユーロ	1.7
CELLNEX TELECOM 1.5% CB	ユーロ	1.5
ZSCALER INC. 0.125% CB	米ドル	1.4
SBI HOLDINGS 0% 25/07/25	円	1.4
組入銘柄数	146	

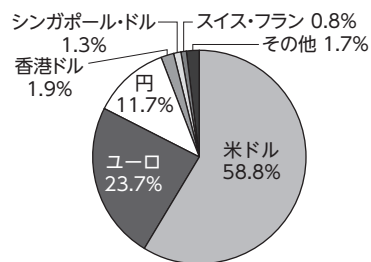
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分

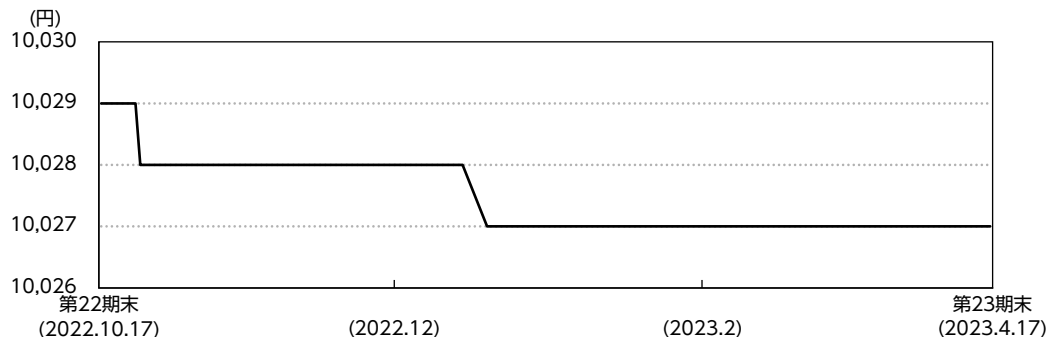


- (注1) 組み入れているのは「シュローダー・グローバルC Bファンド (少数私募) 為替ヘッジあり/為替ヘッジなし」ですが、上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は投資信託証券が投資しているマザーファンドの投資資産を表示しています。
- (注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2023年5月10日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分については発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しています。
- (注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入資産の明細をご参照ください。



# ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

## ■ 基準価額の推移



## ■ 上位銘柄

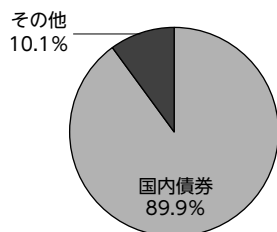
銘柄名	通貨	比率
第132回 共同発行市場公募地方債	円	22.1%
平成30年度第2回 北海道公募公債 (5年)	円	21.9
第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	円	14.2
第26回 政保日本政策金融公庫債券	円	14.2
第49回 政保地方公共団体金融機構債券	円	14.2
第1121回 国庫短期証券	円	2.0
第374回 大阪府公募公債	円	1.4
組入銘柄数		7

## ■ 1万口当たりの費用明細

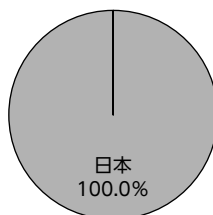
2022.10.18~2023.4.17

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

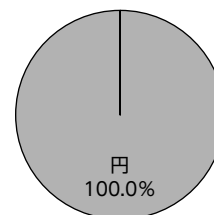
## ■ 資産別配分



## ■ 国別配分



## ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2023年4月17日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	シュロージャー・ グローバル CBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日) 2019年6月28日	円 10,000	円 -	% -	円 10,000	% -	% -	百万円 11
1期(2020年6月22日)	10,359	0	3.6	10,359	98.5	0.0	285
2期(2021年6月21日)	11,914	0	15.0	11,914	98.5	0.0	1,828
3期(2022年6月20日)	9,182	0	△22.9	9,182	98.4	0.0	982
4期(2023年6月20日)	9,393	0	2.3	9,393	98.8	0.0	898

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	シュロージャー・ グローバルCBファンド (少人数私募)為替ヘッジあり	債券 組入比率
	円	%	%	%
(期首)2022年6月20日	9,182	-	98.4	0.0
6月末	9,355	1.9	98.6	0.0
7月末	9,548	4.0	99.1	0.0
8月末	9,592	4.5	98.7	0.0
9月末	9,052	△1.4	99.0	0.0
10月末	9,073	△1.2	98.9	0.0
11月末	9,228	0.5	99.0	0.0
12月末	9,082	△1.1	98.9	0.0
2023年1月末	9,514	3.6	98.3	0.0
2月末	9,251	0.8	98.3	0.0
3月末	9,208	0.3	95.6	0.0
4月末	9,116	△0.7	98.9	0.0
5月末	9,133	△0.5	99.1	0.0
(期末)2023年6月20日	9,393	2.3	98.8	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2022年6月21日～2023年6月20日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
シュロージャー・グローバルC Bファンド (少数者私募) 為替ヘッジあり	千口 36,517	千円 35,740	千口 150,866	千円 147,550

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2022年6月21日～2023年6月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2023年6月20日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
シュロージャー・グローバルC Bファンド (少数者私募) 為替ヘッジあり	千口 1,009,589	千口 895,240	千円 887,720	% 98.8
合計	1,009,589	895,240	887,720	98.8

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は730,943千口です。

投資信託財産の構成

2023年6月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
シュロージャー・グローバルC Bファンド （少数私募）為替ヘッジあり	千円 887,720	% 98.0
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	18,459	2.0
投資信託財産総額	906,189	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年6月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	906,189,657円
コール・ローン等	18,459,536
シュロージャー・グローバルC Bファンド(少数私募) 為替ヘッジあり(評価額)	887,720,126
ニッセイマネーマーケットマザーファンド(評価額)	9,995
(B) 負債	7,923,193
未払解約金	2,744,690
未払信託報酬	5,128,068
その他未払費用	50,435
(C) 純資産総額(A-B)	898,266,464
元本	956,327,347
次期繰越損益金	△ 58,060,883
(D) 受益権総口数	956,327,347口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,393円

- (注1) 期首元本額 1,070,421,409円  
 期中追加設定元本額 48,175,267円  
 期中一部解約元本額 162,269,329円
- (注2) 元本の欠損  
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は58,060,883円です。

損益の状況

当期（2022年6月21日～2023年6月20日）

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 6,857円
受取利息	879
支払利息	△ 7,736
(B) 有価証券売買損益	30,508,261
売益	32,523,273
買損	△ 2,015,012
(C) 信託報酬等	△ 10,617,791
(D) 当期損益金(A+B+C)	19,883,613
(E) 前期繰越損益金	△ 201,352,838
(分配準備積立金)	( 47,003,147)
(繰越欠損金)	(△ 248,355,985)
(F) 追加信託差損益金*	123,408,342
(配当等相当額)	( 38,246,360)
(売買損益相当額)	( 85,161,982)
(G) 合計(D+E+F)	△ 58,060,883
次期繰越損益金(G)	△ 58,060,883
追加信託差損益金	123,408,342
(配当等相当額)	( 38,246,360)
(売買損益相当額)	( 85,161,982)
分配準備積立金	47,003,147
繰越欠損金	△ 228,472,372

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	38,246,360円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	47,003,147円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	85,249,507円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	891.43円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	シュローダー・ グローバル CBファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日) 2019年6月28日	円 10,000	円 -	% -	円 10,000	% -	% -	百万円 12
1期(2020年6月22日)	10,399	0	4.0	10,399	98.5	0.0	296
2期(2021年6月21日)	12,515	0	20.3	12,515	98.5	0.0	1,893
3期(2022年6月20日)	11,126	0	△11.1	11,126	98.5	0.0	1,224
4期(2023年6月20日)	12,576	0	13.0	12,576	98.5	0.0	1,276

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	シュローダー・ グローバルCBファンド (少人数私募)為替ヘッジなし	債券 組入比率
	円	%	%	%
(期首)2022年6月20日	11,126	-	98.5	0.0
6月末	11,541	3.7	98.8	0.0
7月末	11,719	5.3	98.5	0.0
8月末	11,932	7.2	98.7	0.0
9月末	11,663	4.8	98.9	0.0
10月末	11,939	7.3	99.0	0.0
11月末	11,703	5.2	99.4	0.0
12月末	11,274	1.3	98.5	0.0
2023年1月末	11,610	4.4	99.0	0.0
2月末	11,704	5.2	99.2	0.0
3月末	11,484	3.2	98.8	0.0
4月末	11,547	3.8	99.2	0.0
5月末	12,022	8.1	99.2	0.0
(期末)2023年6月20日	12,576	13.0	98.5	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

## 売買および取引の状況

2022年6月21日～2023年6月20日

## (1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
シュロージャー・グローバルC Bファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	千口 13,479	千円 16,130	千口 106,945	千円 134,040

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

## (2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

## 利害関係人との取引状況等

2022年6月21日～2023年6月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

## 組入有価証券明細表

2023年6月20日現在

## (1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
シュロージャー・グローバルC Bファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	千口 1,044,830	千口 951,363	千円 1,257,322	% 98.5
合計	1,044,830	951,363	1,257,322	98.5

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

## (2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は730,943千口です。

## 投資信託財産の構成

2023年6月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
シュロダー・グローバルC Bファンド （少数者私募）為替ヘッジなし	千円 1,257,322	% 97.3
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	35,500	2.7
投資信託財産総額	1,292,833	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年6月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	1,292,833,276円
コール・ローン等	25,900,763
シュロダー・グローバルC Bファンド(少数者私募) 為替ヘッジなし(評価額)	1,257,322,518
ニッセイマネーマーケットマザーファンド(評価額)	9,995
未収入金	9,600,000
(B) 負債	16,104,058
未払解約金	9,212,632
未払信託報酬	6,831,678
その他未払費用	59,748
(C) 純資産総額(A-B)	1,276,729,218
元本	1,015,211,482
次期繰越損益金	261,517,736
(D) 受益権総口数	1,015,211,482口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,576円

(注) 期首元本額	1,100,975,812円
期中追加設定元本額	34,562,753円
期中一部解約元本額	120,327,083円

## 損益の状況

当期 (2022年6月21日～2023年6月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 8,398円
受取利息	913
支払利息	△ 9,311
(B) 有価証券売買損益	160,046,862
売買益	169,080,007
売買損	△ 9,033,145
(C) 信託報酬等	△ 14,088,574
(D) 当期損益金(A+B+C)	145,949,890
(E) 前期繰越損益金	△ 48,296,853
(分配準備積立金)	( 87,175,713)
(繰越欠損金)	(△135,472,566)
(F) 追加信託差損益金*	163,864,699
(配当等相当額)	( 46,547,362)
(売買損益相当額)	( 117,317,337)
(G) 合計(D+E+F)	261,517,736
次期繰越損益金(G)	261,517,736
追加信託差損益金	163,864,699
(配当等相当額)	( 46,547,362)
(売買損益相当額)	( 117,317,337)
分配準備積立金	97,661,435
繰越欠損金	△ 8,398

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。



## 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	10,485,722円
(c) 信託約款に定める収益調整金	163,864,699円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	87,175,713円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	261,526,134円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	2,576.08円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

# お知らせ

## ■《資産成長型・為替ヘッジあり》の自社の実質保有比率

2023年5月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に6.9%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

## ■《資産成長型・為替ヘッジなし》の自社の実質保有比率

2023年5月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に6.9%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

# 各ファンドの概要

		資産成長型・為替ヘッジあり	資産成長型・為替ヘッジなし
商 品 分 類		追加型投信／内外／その他資産（転換社債）	
信 託 期 間		2019年6月28日～2029年5月10日	
運 用 方 針		投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のC B（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
		実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。	実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ニッセイ／シュローダー・グローバルC Bファンド	「シュローダー・グローバルC Bファンド（少数私募）為替ヘッジあり」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」	「シュローダー・グローバルC Bファンド（少数私募）為替ヘッジなし」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
		シュローダー・グローバルC Bマザーファンド	
		日本を含む世界のC B（転換社債）	
		円建ての短期公社債および短期金融商品	
運 用 方 法		<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への直接投資は行いません。</li> <li>・株式への直接投資は行いません。</li> </ul>	
分 配 方 針		毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。	

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産(転換社債)	
信託期間	2019年7月1日から2029年5月10日まで	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダー・グローバルCBマザーファンドの受益証券を主な投資対象とします。
	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	世界(日本を含む)の転換社債を主な投資対象とします。
運用方法および組入制限	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。</li> <li>マザーファンド組入比率には制限を設けません。</li> <li>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。また通貨によっては、主として米ドルを用いた代替ヘッジを行うことがあります。</li> </ul>
	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> <li>運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント(スイス)AGに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。</li> </ul>
分配方針	年1回の毎決算時(毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。)に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、収益分配を行わない場合があります。	

## シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3  
丸の内トラストタワー本館21階  
<http://www.schroders.co.jp/>

### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

# シュローダー・グローバル CBファンド(少人数私募) 為替ヘッジあり

## 第4期 運用報告書(全体版)

(決算日 2023年5月10日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・グローバルCBファンド(少人数私募) 為替ヘッジあり」は、2023年5月10日に第4期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**Schroders**  
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	純資産額
		税分	込配	み金		
(設定日)	円				%	百万円
2019年7月1日	10,000			円	%	522
1期(2020年5月11日)	9,982			0	△ 0.2	1,011
2期(2021年5月10日)	12,034			0	20.6	3,788
3期(2022年5月10日)	10,027			0	△16.7	1,890
4期(2023年5月10日)	9,644			0	△ 3.8	1,645

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率
		騰	落	
(期首)	円			%
2022年5月10日	10,027			%
5月末	10,175			1.5
6月末	9,722			△3.0
7月末	10,068			0.4
8月末	10,022			△0.0
9月末	9,384			△6.4
10月末	9,541			△4.8
11月末	9,679			△3.5
12月末	9,604			△4.2
2023年1月末	9,927			△1.0
2月末	9,748			△2.8
3月末	9,723			△3.0
4月末	9,609			△4.2
(期末)				
2023年5月10日	9,644			△3.8

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

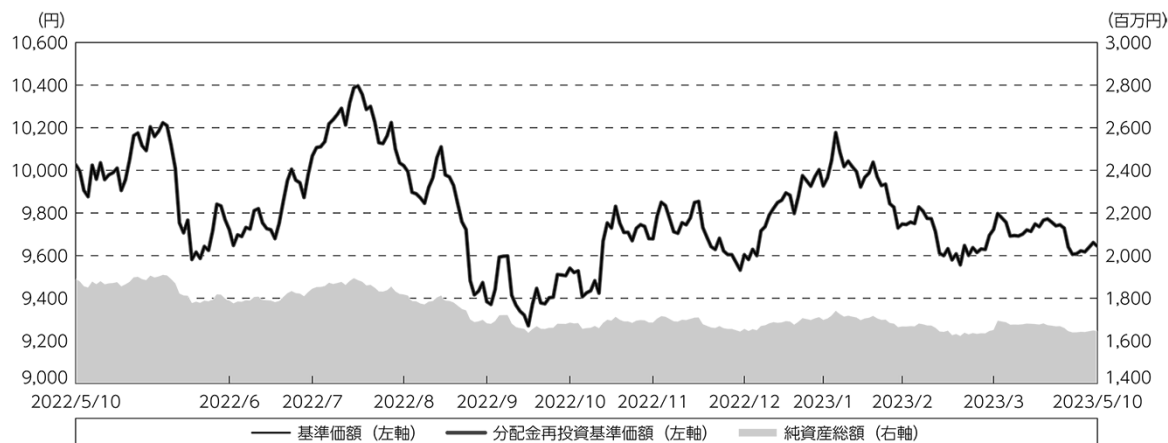
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2022年5月11日～2023年5月10日)

期中の基準価額等の推移



期首：10,027円

期末：9,644円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 3.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2022年5月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首10,027円でスタートした基準価額は、9,644円（分配後）で期末を迎え、期首比3.8%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は追随しきれず、株式市場に対して劣後する局面や、株式市場の下落局面において、CB市場は下値抵抗力を発揮できない局面が見られましたが、期を通しては上昇となりました。一方で、当期、米金利が大きく上昇し、日米金利差が拡大したことに連動してヘッジコストが上昇したため、為替ヘッジありの当ファンドにおいては、為替益を享受できず、基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境

当期、2022年10月にかけて主要国の株式市場は下落しました。グローバルでインフレ圧力が高まり、中央銀行の金融政策に対する警戒感から投資家のリスク回避姿勢が強まる中、収束の見えないロシアによるウクライナ侵攻や、中国の厳格なゼロコロナ政策や不動産セクターに対する懸念を背景に軟調な推移となりました。10月に入るとインフレ期待率についてやや低下が見られたことで再び株式市場は上昇に転じ、堅調な推移となりましたが12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）においてパウエル議長が改めてタカ派姿勢を示し、利上げが継続するとの観測に嫌気し下落しました。このような中で米国の銀行の経営危機によりリスク回避姿勢が高まったものの、金融当局の迅速な対応により、金融システムへの懸念が和らいで上昇に転じ、期を通しては上昇となりました。このような環境下、CB市場においては、金融、通信セクターが軟調となった一方で、資本財・サービス、ヘルスケアセクターが堅調となり、期を通しては上昇となりましたが、CBの特性である株式市場に対する上昇追随力をやや欠いた動きとなりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象としているシュローダー・グローバルCBマザーファンドの運用について

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および日本を強気とした運用を行いました。

（格付はS&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第4期
	2022年5月11日～ 2023年5月10日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	761

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

現在、様々な景気後退期の兆候が見られています。米国では、引き続き地方銀行に対する懸念が高まり資金流出の圧力にさらされている中、銀行は融資基準を厳格化し、金利を引き上げています。住宅ローンや自動車ローン、クレジットカードの所有者などすべての債務者は、より高い金利に直面しています。コスト削減策を講じる企業もあれば、債務不履行に陥る企業もあります。米国コンファレンスボードの先行経済指標においては景気後退を示す水準となっており、遅行指標である米国の失業保険の継続申請件数も増加傾向にあります。また米国外においても、台湾のチップ輸出や韓国・ベトナムの携帯電話の輸出量が落ち込むなど、グローバル経済の成長が鈍化する可能性があるかとみています。運用チームは長期的な市場見通しに対して引き続き防御的かつよりネガティブな姿勢を維持しており、今後さらにボラティリティ（変動性）が高まるとみています。この様な中、全天候型商品といえるCBには、より防御的な資産クラスとしての投資妙味があると考えます。

CBの下落はその他市場よりも早く始まり、基礎となる株式は大きく下落しましたが、ほとんどの発行体は収益をあげています。CBが再び関心を得るには、良好な上昇追随力と下値抵抗力の回復かつ安定的な持続を見る必要がありますが、2022年上半年期以降改善傾向にあります。

最近、大手IT企業による発行が急増しており、特に長期債の取引が活発となっていますが、これら銘柄が下落しても、これらの企業においてCBの発行は行われておらず、CBのユニバースに影響を及ぼす可能性は軽微といえます。引き続きCBは依然売られ過ぎの状況にあると考えます。この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。



○1万口当たりの費用明細

(2022年5月11日～2023年5月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	52	0.533	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(49)	(0.506)	・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表
（ 販 売 会 社 ）	(0)	(0.001)	・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・運用報告書等各種書類の交付
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.026)	・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等 ・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	6	0.060	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.026)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.014)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(1)	(0.015)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.006)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI: Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	58	0.593	
期中の平均基準価額は、9,766円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年5月11日～2023年5月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千口 189,942	千円 233,762	千口 475,187	千円 588,168

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年5月11日～2023年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年5月10日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千口 1,611,652	千口 1,326,406	千円 1,662,518

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2023年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千円 1,662,518	% 100.0
コール・ローン等、その他	212	0.0
投資信託財産総額	1,662,730	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュローダー・グローバルCBマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,302,109千円)の投資信託財産総額(3,809,262千円)に対する比率は86.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=135.15円、1ユーロ=148.23円、1スイスフラン=151.87円、1香港ドル=17.24円、1シンガポールドル=101.88円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年5月10日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,182,168,270
シュローダー・グローバルCBマザーファンド(評価額)	1,662,518,255
未収入金	1,519,650,015
(B) 負債	1,536,265,059
未払金	1,531,591,938
未払信託報酬	4,434,530
その他未払費用	238,591
(C) 純資産総額(A-B)	1,645,903,211
元本	1,706,648,326
次期繰越損益金	△ 60,745,115
(D) 受益権総口数	1,706,648,326口
1万円当たり基準価額(C/D)	9,644円

[元本増減]

期首元本額	1,884,982,323円
期中追加設定元本額	36,517,832円
期中一部解約元本額	214,851,829円

○損益の状況（2022年5月11日～2023年5月10日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 54,799,949
売買益	429,409,249
売買損	△484,209,198
(B) 信託報酬等	△ 9,763,545
(C) 当期損益金(A+B)	△ 64,563,494
(D) 前期繰越損益金	△216,999,473
(E) 追加信託差損益金	220,817,852
(配当等相当額)	( 10,049,365)
(売買損益相当額)	( 210,768,487)
(F) 計(C+D+E)	△ 60,745,115
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△ 60,745,115
追加信託差損益金	220,817,852
(配当等相当額)	( 10,066,967)
(売買損益相当額)	( 210,750,885)
分配準備積立金	119,822,072
繰越損益金	△401,385,039

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(10,066,967円)および分配準備積立金(119,822,072円)より分配対象収益は129,889,039円(10,000口当たり761円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 当ファンドが主要投資対象としておりますシュローダー・グローバルCBマザーファンドは、外貨建資産等の運用の指図権限をシュローダー・インベストメント・マネージメント(スイス)AGに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

## 〈シュローダー・グローバルCBマザーファンド 第4期〉

【計算期間 2022年5月11日から2023年5月10日まで】

信託期間	無期限
決算日	毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
運用方法および 組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・ 運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント（スイス）AGに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。</li> </ul>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		新株予約権付社債 ( 転換社債 ) 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
(設定日)	円		%	%	百万円
2019年7月1日	10,000		—	—	1,040
1期(2020年5月11日)	9,986	△	0.1	97.2	1,898
2期(2021年5月10日)	12,585		26.0	93.4	7,381
3期(2022年5月10日)	11,995	△	4.7	97.0	4,083
4期(2023年5月10日)	12,534		4.5	98.3	3,785

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額は1万口当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		新株予約権付社債 ( 転換社債 ) 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2022年5月10日	11,995		—	97.0
5月末	12,083		0.7	98.1
6月末	12,152		1.3	99.4
7月末	12,366		3.1	100.0
8月末	12,637		5.4	98.0
9月末	12,324		2.7	98.7
10月末	12,853		7.2	98.2
11月末	12,447		3.8	97.7
12月末	11,988		△0.1	95.7
2023年1月末	12,313		2.7	96.5
2月末	12,547		4.6	98.6
3月末	12,416		3.5	96.1
4月末	12,403		3.4	97.3
(期 末)				
2023年5月10日	12,534		4.5	98.3

(注) 基準価額は1万口当たり。

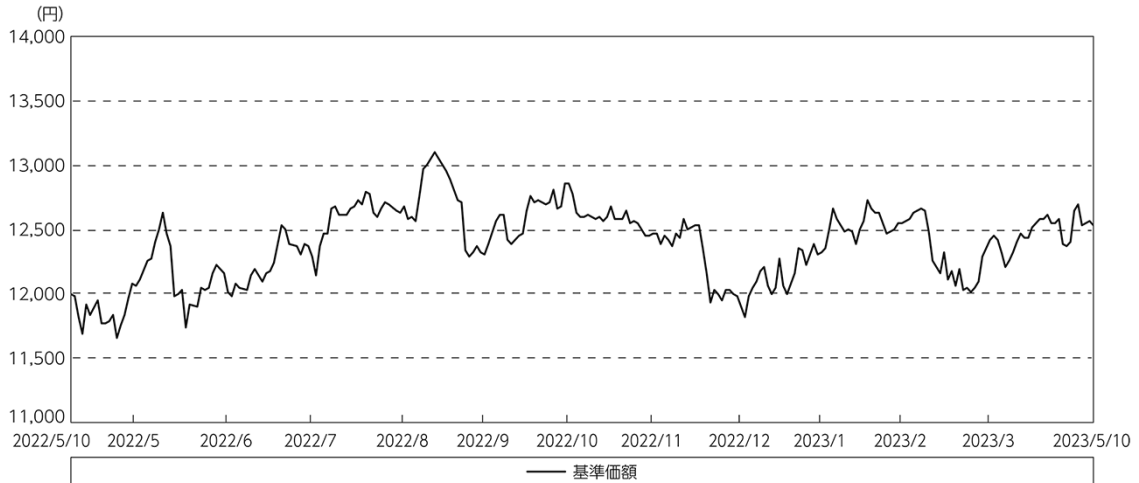
(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2022年5月11日～2023年5月10日)

期中の基準価額等の推移



(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首11,995円でスタートした基準価額は、12,534円で期末を迎え、期首比4.5%の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は追随しきれず、株式市場に対して劣後する局面や、株式市場の下落局面において、CB市場は下値抵抗力を発揮できない局面が見られましたが、期を通しては上昇となりました。また、当期、期を通して円安ドル高が進んだことも、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境

当期、2022年10月にかけて主要国の株式市場は下落しました。グローバルでインフレ圧力が高まり、中央銀行の金融政策に対する警戒感から投資家のリスク回避姿勢が強まる中、収束の見えないロシアによるウクライナ侵攻や、中国の厳格なゼロコロナ政策や不動産セクターに対する懸念を背景に軟調な推移となりました。10月に入るとインフレ期待率についてやや低下が見られたことで再び株式市場は上昇に転じ、堅調な推移となりましたが12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）においてパウエル議長が改めてタカ派姿勢を示し、利上げが継続するとの観測に嫌気し下落しました。このような中で米国の銀行の経営危機によりリスク回避姿勢が高まったものの、金融当局の迅速な対応により、金融システムへの懸念が和らいで上昇に転じ、期を通しては上昇となりました。このような環境下、CB市場においては、金融、通信セクターが軟調となった一方で、資本財・サービス、ヘルスケアセクターが堅調となり、期を通しては上昇となりましたが、CBの特性である株式市場に対する上昇追従力をやや欠いた動きとなりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および日本を強気とした運用を行いました。

(格付はS&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け(平均格付)については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。)

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

## ○今後の運用方針

現在、様々な景気後退期の兆候が見られています。米国では、引き続き地方銀行に対する懸念が高まり資金流出の圧力にさらされている中、銀行は融資基準を厳格化し、金利を引き上げています。住宅ローンや自動車ローン、クレジットカードの所有者などすべての債務者は、より高い金利に直面しています。コスト削減策を講じる企業もあれば、債務不履行に陥る企業もあります。米国コンファレンスボードの先行経済指標においては景気後退を示す水準となっており、遅行指標である米国の失業保険の継続申請件数も増加傾向にあります。また米国外においても、台湾のチップ輸出や韓国・ベトナムの携帯電話の輸出量が落ち込むなど、グローバル経済の成長が鈍化する可能性があるかとみています。運用チームは長期的な市場見通しに対して引き続き防御的かつよりネガティブな姿勢を維持しており、今後さらにボラティリティ(変動性)が高まるとみています。この様な中、全天候型商品といえるCBには、より防御的な資産クラスとしての投資妙味があると考えます。

CBの下落はその他市場よりも早く始まり、基礎となる株式は大きく下落しましたが、ほとんどの発行体は収益をあげています。CBが再び関心を得るには、良好な上昇追随力と下値抵抗力の回復かつ安定的な持続を見る必要がありますが、2022年上半年期以降改善傾向にあります。

最近、大手IT企業による発行が急増しており、特に長期債の取引が活発となっていますが、これら銘柄が下落しても、これらの企業においてCBの発行は行われておらず、CBのユニバースに影響を及ぼす可能性は軽微といえます。引き続きCBは依然売られ過ぎの状況にあると考えます。この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年5月11日~2023年5月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 4	% 0.030	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.026)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.005)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI: Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	4	0.030	
期中の平均基準価額は、12,377円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



○売買及び取引の状況

(2022年5月11日～2023年5月10日)

新株予約権付社債（転換社債）

		買 付		売 付	
		額	金 額	額	金 額
国内		千円	千円	千円	千円
		90,000	94,565	77,000	85,480
外	アメリカ	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
		9,442	10,436	13,735 ( 325)	12,378 ( 325)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	500	499	900	734
	イタリア	—	—	200	142
	フランス	570	618	1,283	1,402
	オランダ	100	105	200	198
	スペイン	600	702	—	—
	オーストリア	100	100	—	—
	ルクセンブルク	200	217	—	—
その他	300	324	800	803	
国	イギリス	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド
		—	—	100	65
	スイス	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン
		400	506	240	336
	香港	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル
	2,000	2,271	4,000	4,137	
シンガポール	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千シンガポールドル	
	250	250	—	—	

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年5月11日～2023年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年5月10日現在)

国内新株予約権付社債（転換社債）

銘	柄	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
		千円	千円
GMO PMT GTW INC 0% 26/06/22		10,000	10,050
MERCARI INC 0% 28/07/14		20,000	13,720
DMG MORI CO LTD 0% 24/07/16		20,000	21,025
SOSEI GROUP COR 0.25% 26/07/27		20,000	27,125
NIPRO CORPORATION 0% 26/09/25		20,000	20,090
NIPPON STEEL CORP 0% 26/10/05		30,000	38,505
TRANS COSMOS INC 0% 26/12/14		20,000	20,825
KOEI TECMO HLDGS 0% 24/12/20		20,000	21,200
CYBERAGENT INC 0% 29/11/16		30,000	31,068
PARK24 CO LTD 0% 28/02/24		20,000	20,825
CYBERAGENT 0% 25/02/29		20,000	20,390
SCREEN HOLDINGS 0% 25/06/11		10,000	11,187
SHIP HEALTHCARE HOLD 0%23/12/13		20,000	20,237
ROHM CO LTD 0% 24/12/05		30,000	30,915
SBI HOLDINGS 0% 25/07/25		50,000	53,350
RELO GROUP INC 0% 27/12/17		30,000	29,137
MENICON CO LTD 0% 25/01/29		10,000	10,356
SENKO GROUP HOLDINGS 0%25/03/18		20,000	20,170
YAMAZEN CORPORATION 0% 26/4/30		20,000	21,057
合 計	額 面 金 額	420,000	441,235
	銘 柄 数 < 比 率 >	19	<11.7%>

(注) 評価額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
BIOMARIN PHARMA 1.25%CB	200	206	27,908
DEXCOM INC 0.25% CB	464	490	66,315
SILICON LABORA 0.625% CB	70	83	11,287
DATADOG INC 0.125% CB	340	381	51,534
JAZZ INVESTMENTS 2% CB	200	213	28,888
ZSCALER INC. 0.125% CB	385	398	53,879
FIVE9 INC 0.5% CB	150	134	18,194
ETSY INC CONV 0.125% CB	100	85	11,555
NICE LTD 0% CB	229	209	28,287
STRIDE INC 1.125% CB	94	96	13,053
LCI INDUSTRI 1.125% CB	48	44	5,955
BILL.COM HOLDINGS 0% CB	355	348	47,114
BLOCK INC 0.125% CB	250	234	31,625
BOX INC 0% CB	70	83	11,243
NEXTERA ENERGY 0% CB	250	238	32,165
BENTLEY SYS 0.125% CB	202	196	26,617
ENPHASE ENERGY 0% CB	105	99	13,452
ENPHASE ENERGY 0% CB	153	142	19,321
CERIDIAN HCM 0.25% CB	36	31	4,211
SHIFT4 PAYMENTS 0% CB	254	263	35,598
NEXTERA ENERGY 0% CB	50	47	6,375
DROPBOX INC 0% CB	100	90	12,163
DROPBOX INC 0% CB	328	286	38,721
FORD MOTOR 0% CB	650	637	86,134
TYLER TECH 0.25% CB	200	203	27,489
M/A-COM TECH 0.25% CB	110	102	13,833
SOLAREEDGE TECH 0% CB	260	326	44,064
IONIS PHARMACEU 0% CB	100	92	12,442
PROGRESS SOFTWARE 1% CB	150	158	21,458
HUBSPOT INC 0.375% CB	90	147	19,966
ZILLOW GROUP 0.75% CB	115	140	18,922
BURLINGTON 2.25% CB	175	189	25,587
OMNICELL INC 0.25% CB	115	111	15,068
SEA LTD 2.375% CB	230	276	37,348
ZILLOW GROUP 1.375% CB	100	124	16,799
CONMED CORP 2.25% CB	79	84	11,370
SUNNOVA ENERGY 0.25% CB	250	181	24,529

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
MIDDLEBY CORP 1.0% CB	150	186	25,218
CHINA HONGQIAO 5.25% CB	200	250	33,861
BENTLEY SYS 0.375% CB	164	142	19,261
LENOVO GROUP 2.5% CB	300	329	44,589
SUNNOVA ENERGY 2.625%CB	30	22	3,054
ALNYLAM PHARMA 1% CB	183	185	25,026
SAREPTA THERAP 1.25% CB	200	230	31,168
NUTANIX INC 0.25% CB	100	83	11,230
ORMAT TECH 2.5% CB	100	112	15,265
CYTOKINETICS 3.5% CB	75	77	10,440
WOLFSPEED INC 1.875% CB	350	240	32,567
NCL CORP 1.125% CB	100	74	10,102
MARRIOTT VACA 3.25% CB	25	24	3,263
LANTHEUS HLD 2.625% CB	90	131	17,713
AXON ENTERPRISE 0.5% CB	200	235	31,868
HALOZYME THER 1.0% CB	125	107	14,475
PARSONS CORP 0.25% CB	100	109	14,839
INSMED INC 0.75% CB	75	61	8,343
WOLFSPEED INC 0.25% CB	250	171	23,178
ON SEMICONDUCTOR 0.5%CB	383	392	53,056
SOUTHERN CO 3.875% CB	75	77	10,526
WYNN MACAU 4.5% CB	200	223	30,178
INTEGER HLDGS 2.125% CB	75	83	11,332
MARRIOTT VACATION 0% CB	100	95	12,893
SK HYNIX 1.75% CB	200	208	28,138
L&F CO LTD 2.5% CB	200	179	24,259
DEXCOM INC 0.375% CB	67	68	9,199
BIOMARIN PHAR 0.599% CB	100	102	13,894
EXACT SCIENCES 1% CB	100	116	15,762
JAZZ INVEST 1.5% CB	200	190	25,780
EXACT SCIENCES 0.375% CB	225	213	28,906
AKAMAI TECHNOL 0.125% CB	300	304	41,128
BLOCK INC 0.5% CB	125	125	16,940
SPLUNK INC 1.125% CB	100	94	12,798
J2 GLOBAL 1.75% CB	75	69	9,350
BHARTI AIRTEL 1.5% CB	200	263	35,626
EURONET WORLD 0.75% CB	18	17	2,364
SOUTHWEST AIR 1.25% CB	250	266	36,059
ZHEN DING TECH HLD 0% CB	200	198	26,766

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
AMERICAN AIRLINES6.5% CB	150	171	23,171
STMICROELECTRO 0% CB	200	222	30,129
STMICROELECTRO 0% CB	200	225	30,513
AKAMAI TECHNO 0.375% CB	50	46	6,301
ESR CAYMAN 1.5% CB	200	195	26,408
ETSY INC CONV 0.125% CB	227	287	38,870
INSULET CORP 0.375% CB	55	82	11,166
LIBERTY MEDIA 0.5% CB	150	154	20,856
CYBERARK SOFTWARE 0% CB	300	325	44,015
QIAGEN NV 0% CB	600	543	73,478
LUMENTUM HOLD 0.5% CB	350	295	39,899
MONGODB INC 0.25% CB	360	489	66,132
LIVE NATION ENTER 2% CB	90	90	12,260
ASAHI REFINING 0% CB	100	88	11,947
小 計	額 面 金 額	16,099	2,226,074
	銘柄 数 < 比 率 >	90	<58.8%>
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	千円
RAG-STIFTUNG 1.875% CB	100	104	15,487
RHEINMETALL 2.25% CB	100	110	16,393
RHEINMETALL 1.875% CB	200	215	31,995
DEUTSCHE POST 0.05% CB	200	193	28,680
RAG-STIFTUNG 0% CB	300	278	41,208
DEUTSCHE LUFT 2% CB	100	116	17,198
小 計	額 面 金 額	1,000	150,963
	銘柄 数 < 比 率 >	6	<4.0%>
(ユーロ・・・イタリア)	千ユーロ	千ユーロ	千円
DIASORIN SPA 0% CB	200	158	23,559
NEXI SPA CONV 1.75% CB	100	86	12,830
PIRELLI & C SPA 0% CB	100	100	14,861
PRYSMIAN SPA 0% CB	300	316	46,934
小 計	額 面 金 額	700	98,186
	銘柄 数 < 比 率 >	4	<2.6%>
(ユーロ・・・フランス)	千ユーロ	千ユーロ	千円
SAFRAN SA 0% CB	165	159	23,595
UBISOFT 2.375% CB	100	101	15,059
SPIE SA 2.0% CB	100	104	15,450
WENDEL SE 2.625% CB	100	98	14,645
SAFRAN SA REGS0.875% CB	151	203	30,145
SELENA CONV REGS 0% CB	200	185	27,497

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄		当 期 末					
		額 面 金 額	評 価 額				
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			
(ユーロ・・・フランス)		千ユーロ	千ユーロ	千円			
SOITEC 0% CB		69	71	10,564			
SCHNEIDER ELECTRIC0% CB		243	258	38,302			
ACCOR SA CONV 0.7% CB		189	182	27,003			
小	計	額 面 金 額	1,319	1,364	202,266		
		銘 柄 数 < 比 率 >	9	—	<5.3%>		
(ユーロ・・・オランダ)		千ユーロ	千ユーロ	千円			
AMERICA MOVIL 0% CB		500	539	80,003			
小	計	額 面 金 額	500	539	80,003		
		銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<2.1%>		
(ユーロ・・・スペイン)		千ユーロ	千ユーロ	千円			
INTL CON AIR 1.125% CB		100	82	12,254			
CELLNEX TELECOM 1.5% CB		300	387	57,428			
IBERDROLA FINAN 0.8% CB		100	101	15,039			
CELLNEX TELECOM 0.5% CB		400	431	63,936			
AMADEUS IT GROUP 1.5% CB		200	245	36,320			
小	計	額 面 金 額	1,100	1,247	184,978		
		銘 柄 数 < 比 率 >	5	—	<4.9%>		
(ユーロ・・・ベルギー)		千ユーロ	千ユーロ	千円			
UMICORE SA CONV 0% CB		100	90	13,367			
小	計	額 面 金 額	100	90	13,367		
		銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<0.4%>		
(ユーロ・・・オーストリア)		千ユーロ	千ユーロ	千円			
VOESTALPINE 2.75% CB		100	99	14,786			
小	計	額 面 金 額	100	99	14,786		
		銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<0.4%>		
(ユーロ・・・ルクセンブルク)		千ユーロ	千ユーロ	千円			
LAGFIN SCA 2% CB		200	248	36,835			
OLIVER CAPITAL 0% CB		100	105	15,586			
小	計	額 面 金 額	300	353	52,421		
		銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	<1.4%>		
(ユーロ・・・その他)		千ユーロ	千ユーロ	千円			
FOMENTO ECONO 2.625% CB		100	106	15,818			
GEELY SWEDEN FIN 0% CB		100	136	20,202			
ANLLIAN CAPITAL 0% CB		400	426	63,190			
小	計	額 面 金 額	600	669	99,211		
		銘 柄 数 < 比 率 >	3	—	<2.6%>		
ユ	ー	ロ	計	額 面 金 額	5,719	6,045	896,185
				銘 柄 数 < 比 率 >	32	—	<23.7%>

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(スイス) SIKA AG 0.15% CB	千スイスフラン 160	千スイスフラン 211	千円 32,105
小 計	額 面 金 額 160 銘 柄 数 < 比 率 > 1	211 —	32,105 <0.8%>
(香港) KINGSOFT CORP 0.625% CB CATHAY PACIFIC 2.75% CB	千香港ドル 2,000 2,000	千香港ドル 2,240 1,993	千円 38,626 34,359
小 計	額 面 金 額 4,000 銘 柄 数 < 比 率 > 2	4,233 —	72,985 <1.9%>
(シンガポール) STRAITS TRADING 3.25%CB SINGAPORE AIR 1.625% CB	千シンガポールドル 250 250	千シンガポールドル 226 272	千円 23,075 27,726
小 計	額 面 金 額 500 銘 柄 数 < 比 率 > 2	498 —	50,802 <1.3%>
合 計	額 面 金 額 — 銘 柄 数 < 比 率 > 127	— —	3,278,153 <86.6%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2023年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
新株予約権付社債(転換社債)	千円 3,719,388	% 97.6
コール・ローン等、その他	89,874	2.4
投資信託財産総額	3,809,262	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(3,302,109千円)の投資信託財産総額(3,809,262千円)に対する比率は86.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=135.15円、1ユーロ=148.23円、1スイスフラン=151.87円、1香港ドル=17.24円、1シンガポールドル=101.88円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年5月10日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	3,819,086,173	
コール・ローン等	72,848,905	
公社債(評価額)	3,719,388,284	
未収入金	19,576,273	
未収利息	6,658,557	
前払費用	614,154	
(B) 負債	33,954,548	
未払金	33,947,565	
その他未払費用	6,983	
(C) 純資産総額(A-B)	3,785,131,625	
元本	3,019,878,388	
次期繰越損益金	765,253,237	
(D) 受益権総口数	3,019,878,388口	
1万口当たり基準価額(C/D)	12,534円	

[元本増減]

期首元本額	3,403,927,554円
期中追加設定元本額	229,812,588円
期中一部解約元本額	613,861,754円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュローダー・グローバルCBファンド(少数私募) 為替ヘッジあり	1,326,406,778円
シュローダー・グローバルCBファンド(少数私募) 為替ヘッジなし	1,693,471,610円

○損益の状況 (2022年5月11日~2023年5月10日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	19,371,851	
受取利息	19,427,771	
その他収益金	9,421	
支払利息	△ 65,341	
(B) 有価証券売買損益	162,624,484	
売買益	427,226,698	
売買損	△264,602,214	
(C) 保管費用等	△ 1,175,903	
(D) 当期損益金(A+B+C)	180,820,432	
(E) 前期繰越損益金	679,160,377	
(F) 追加信託差損益金	52,429,627	
(G) 解約差損益金	△147,157,199	
(H) 計(D+E+F+G)	765,253,237	
次期繰越損益金(H)	765,253,237	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。



当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）	
信託期間	2019年7月1日から2029年5月10日まで	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダー・グローバルCBマザーファンドの受益証券を主な投資対象とします。
	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
運用方法および組入制限	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。</li> <li>マザーファンド組入比率には制限を設けません。</li> <li>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> <li>運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント（スイス）AGに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。</li> </ul>
分配方針	年1回の毎決算時（毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、収益分配を行わない場合があります。	

# シュローダー・グローバル CBファンド（少人数私募） 為替ヘッジなし

## 第4期 運用報告書（全体版）

（決算日 2023年5月10日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募） 為替ヘッジなし」は、2023年5月10日に第4期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

### シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3  
丸の内トラストタワー本館21階  
<http://www.schroders.co.jp/>

#### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日は除く）

**Schroders**  
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	純資産額
		税分	込配	み金		
(設定日)	円				%	百万円
2019年7月1日	10,000			円	%	518
1期(2020年5月11日)	9,937			0	△ 0.6	895
2期(2021年5月10日)	12,456			0	25.3	3,561
3期(2022年5月10日)	11,806			0	△ 5.2	2,143
4期(2023年5月10日)	12,268			0	3.9	2,116

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率
		騰	落	
(期首)	円			%
2022年5月10日	11,806			%
5月末	11,889			0.7
6月末	11,951			1.2
7月末	12,157			3.0
8月末	12,417			5.2
9月末	12,103			2.5
10月末	12,618			6.9
11月末	12,213			3.4
12月末	11,757			△0.4
2023年1月末	12,070			2.2
2月末	12,294			4.1
3月末	12,160			3.0
4月末	12,142			2.8
(期末)				
2023年5月10日	12,268			3.9

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

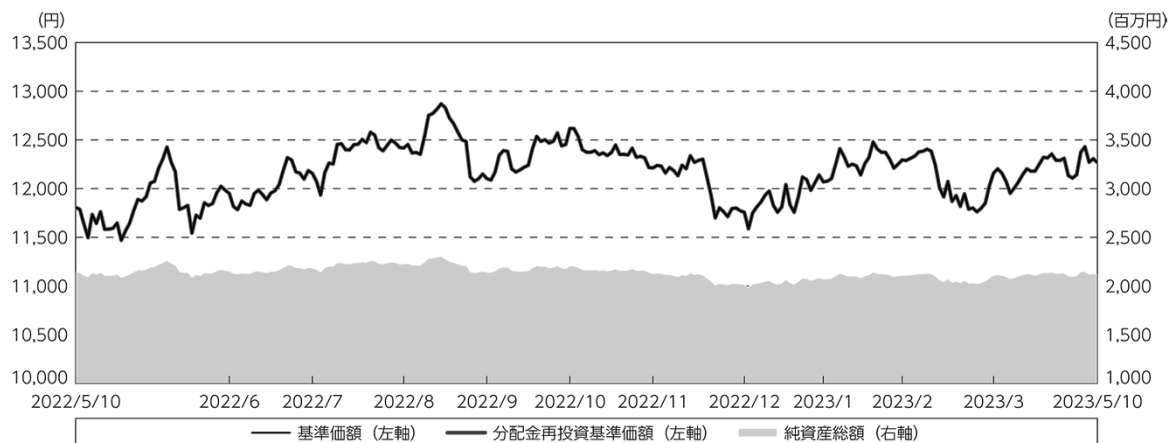
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2022年5月11日～2023年5月10日)

期中の基準価額等の推移



期首：11,806円

期末：12,268円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 3.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年5月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首11,806円でスタートした基準価額は、12,268円(分配後)で期末を迎え、期首比3.9%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は追従しきれず、株式市場に対して劣後する局面や、株式市場の下落局面において、CB市場は下値抵抗力を発揮できない局面が見られましたが、期を通しては上昇となりました。また、当期、期を通して円安ドル高が進んだことも、基準価額の上昇要因となりました。

## 投資環境

当期、2022年10月にかけて主要国の株式市場は下落しました。グローバルでインフレ圧力が高まり、中央銀行の金融政策に対する警戒感から投資家のリスク回避姿勢が強まる中、収束の見えないロシアによるウクライナ侵攻や、中国の厳格なゼロコロナ政策や不動産セクターに対する懸念を背景に軟調な推移となりました。10月に入るとインフレ期待率についてやや低下が見られたことで再び株式市場は上昇に転じ、堅調な推移となりましたが12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）においてパウエル議長が改めてタカ派姿勢を示し、利上げが継続するとの観測に嫌気し下落しました。このような中で米国の銀行の経営危機によりリスク回避姿勢が高まったものの、金融当局の迅速な対応により、金融システムへの懸念が和らいで上昇に転じ、期を通しては上昇となりました。このような環境下、CB市場においては、金融、通信セクターが軟調となった一方で、資本財・サービス、ヘルスケアセクターが堅調となり、期を通しては上昇となりましたが、CBの特性である株式市場に対する上昇追随力をやや欠いた動きとなりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象としているシュローダー・グローバルCBマザーファンドの運用について

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および日本を強気とした運用を行いました。

（格付はS&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第4期
	2022年5月11日～ 2023年5月10日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,268

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

現在、様々な景気後退期の兆候が見られています。米国では、引き続き地方銀行に対する懸念が高まり資金流出の圧力にさらされている中、銀行は融資基準を厳格化し、金利を引き上げています。住宅ローンや自動車ローン、クレジットカードの所有者などすべての債務者は、より高い金利に直面しています。コスト削減策を講じる企業もあれば、債務不履行に陥る企業もあります。米国コンファレンスボードの先行経済指標においては景気後退を示す水準となっており、遅行指標である米国の失業保険の継続申請件数も増加傾向にあります。また米国外においても、台湾のチップ輸出や韓国・ベトナムの携帯電話の輸出量が落ち込むなど、グローバル経済の成長が鈍化する可能性があるかとみています。運用チームは長期的な市場見通しに対して引き続き防御的かつよりネガティブな姿勢を維持しており、今後さらにボラティリティ（変動性）が高まるとみています。この様な中、全天候型商品といえるCBには、より防御的な資産クラスとしての投資妙味があると考えます。

CBの下落はその他市場よりも早く始まり、基礎となる株式は大きく下落しましたが、ほとんどの発行体は収益をあげています。CBが再び関心を得るには、良好な上昇追随力と下値抵抗力の回復かつ安定的な持続を見る必要がありますが、2022年上半年期以降改善傾向にあります。

最近、大手IT企業による発行が急増しており、特に長期債の取引が活発となっていますが、これら銘柄が下落しても、これらの企業においてCBの発行は行われておらず、CBのユニバースに影響を及ぼす可能性は軽微といえます。引き続きCBは依然売られ過ぎの状況にあると考えます。この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年5月11日～2023年5月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	65	0.533	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(61)	(0.506)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンドの運用判断、受託会社への指図</li> <li>・基準価額の算出ならびに公表</li> <li>・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等</li> <li>・運用報告書等各種書類の交付</li> <li>・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等</li> </ul>
（ 販 売 会 社 ）	(0)	(0.001)	
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.026)	
(b) そ の 他 費 用	7	0.059	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.026)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用</li> <li>・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用</li> <li>・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用</li> <li>・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI: Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等</li> </ul>
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.015)	
（ 印 刷 費 用 ）	(2)	(0.013)	
（ そ の 他 ）	(0)	(0.005)	
合 計	72	0.592	
期中の平均基準価額は、12,147円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年5月11日～2023年5月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千口 39,870	千円 48,480	千口 138,674	千円 172,850

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年5月11日～2023年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年5月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千口 1,792,275	千口 1,693,471	千円 2,122,597

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2023年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	千円 2,122,597	% 100.0
投資信託財産総額	2,122,597	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュローダー・グローバルCBマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,302,109千円)の投資信託財産総額(3,809,262千円)に対する比率は86.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=135.15円、1ユーロ=148.23円、1スイスフラン=151.87円、1香港ドル=17.24円、1シンガポールドル=101.88円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年5月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,122,597,315
シュローダー・グローバルCBマザーファンド(評価額)	2,122,597,315
(B) 負債	5,827,001
未払信託報酬	5,529,820
その他未払費用	297,181
(C) 純資産総額(A-B)	2,116,770,314
元本	1,725,378,780
次期繰越損益金	391,391,534
(D) 受益権総口数	1,725,378,780口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,268円

[元本増減]

期首元本額	1,815,573,844円
期中追加設定元本額	40,662,822円
期中一部解約元本額	130,857,886円

○損益の状況 (2022年5月11日~2023年5月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	91,287,230
売買益	97,582,501
売買損	△ 6,295,271
(B) 信託報酬等	△ 11,989,251
(C) 当期損益金(A+B)	79,297,979
(D) 前期繰越損益金	57,782,223
(E) 追加信託差損益金	254,311,332
(配当等相当額)	( 26,178,204)
(売買損益相当額)	( 228,133,128)
(F) 計(C+D+E)	391,391,534
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	391,391,534
追加信託差損益金	254,311,332
(配当等相当額)	( 26,200,198)
(売買損益相当額)	( 228,111,134)
分配準備積立金	181,708,802
繰越損益金	△ 44,628,600

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(9,180,804円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(209,682,732円)および分配準備積立金(172,527,998円)より分配対象収益は391,391,534円(10,000口当たり2,268円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 当ファンドが主要投資対象としておりますシュローダー・グローバルCBマザーファンドは、外貨建資産等の運用の指図権限をシュローダー・インベストメント・マネージメント(スイス)AGに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----



## 〈シュローダー・グローバルCBマザーファンド 第4期〉

【計算期間 2022年5月11日から2023年5月10日まで】

信託期間	無期限
決算日	毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
運用方法および 組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・ 運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント（スイス）AGに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。</li> </ul>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		新株予約権付社債 ( 転換社債 ) 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
(設定日)	円		%	%	百万円
2019年7月1日	10,000		—	—	1,040
1期(2020年5月11日)	9,986	△	0.1	97.2	1,898
2期(2021年5月10日)	12,585		26.0	93.4	7,381
3期(2022年5月10日)	11,995	△	4.7	97.0	4,083
4期(2023年5月10日)	12,534		4.5	98.3	3,785

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額は1万円当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		新株予約権付社債 ( 転換社債 ) 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2022年5月10日	11,995		—	97.0
5月末	12,083		0.7	98.1
6月末	12,152		1.3	99.4
7月末	12,366		3.1	100.0
8月末	12,637		5.4	98.0
9月末	12,324		2.7	98.7
10月末	12,853		7.2	98.2
11月末	12,447		3.8	97.7
12月末	11,988	△	0.1	95.7
2023年1月末	12,313		2.7	96.5
2月末	12,547		4.6	98.6
3月末	12,416		3.5	96.1
4月末	12,403		3.4	97.3
(期 末)				
2023年5月10日	12,534		4.5	98.3

(注) 基準価額は1万円当たり。

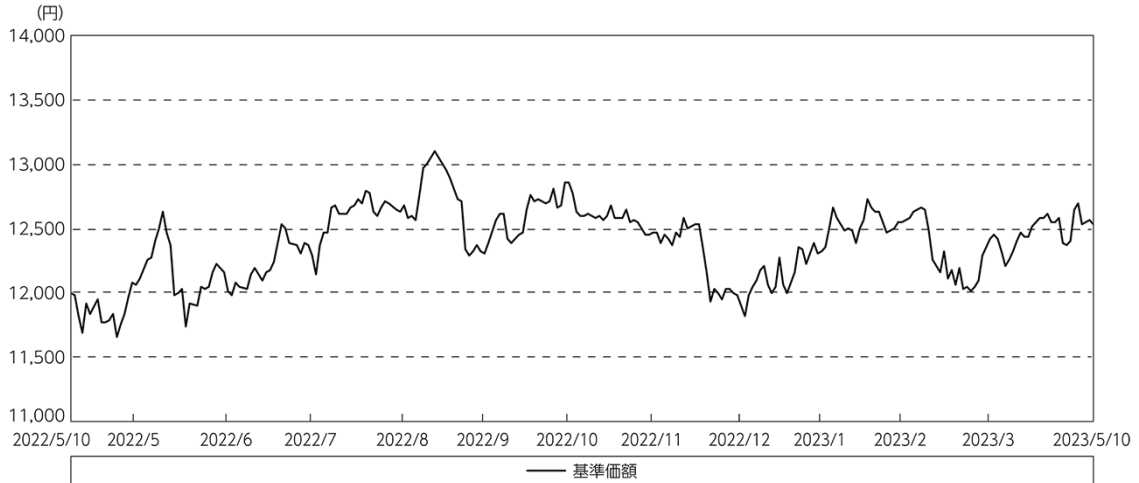
(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2022年5月11日～2023年5月10日)

期中の基準価額等の推移



(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首11,995円でスタートした基準価額は、12,534円で期末を迎え、期首比4.5%の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は追随しきれず、株式市場に対して劣後する局面や、株式市場の下落局面において、CB市場は下値抵抗力を発揮できない局面が見られましたが、期を通しては上昇となりました。また、当期、期を通して円安ドル高が進んだことも、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境

当期、2022年10月にかけて主要国の株式市場は下落しました。グローバルでインフレ圧力が高まり、中央銀行の金融政策に対する警戒感から投資家のリスク回避姿勢が強まる中、収束の見えないロシアによるウクライナ侵攻や、中国の厳格なゼロコロナ政策や不動産セクターに対する懸念を背景に軟調な推移となりました。10月に入るとインフレ期待率についてやや低下が見られたことで再び株式市場は上昇に転じ、堅調な推移となりましたが12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）においてパウエル議長が改めてタカ派姿勢を示し、利上げが継続するとの観測に嫌気し下落しました。このような中で米国の銀行の経営危機によりリスク回避姿勢が高まったものの、金融当局の迅速な対応により、金融システムへの懸念が和らいで上昇に転じ、期を通しては上昇となりました。このような環境下、CB市場においては、金融、通信セクターが軟調となった一方で、資本財・サービス、ヘルスケアセクターが堅調となり、期を通しては上昇となりましたが、CBの特性である株式市場に対する上昇追随力をやや欠いた動きとなりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および日本を強気とした運用を行いました。

(格付はS&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け(平均格付)については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。)

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

## ○今後の運用方針

現在、様々な景気後退期の兆候が見られています。米国では、引き続き地方銀行に対する懸念が高まり資金流出の圧力にさらされている中、銀行は融資基準を厳格化し、金利を引き上げています。住宅ローンや自動車ローン、クレジットカードの所有者などすべての債務者は、より高い金利に直面しています。コスト削減策を講じる企業もあれば、債務不履行に陥る企業もあります。米国コンファレンスボードの先行経済指標においては景気後退を示す水準となっており、遅行指標である米国の失業保険の継続申請件数も増加傾向にあります。また米国外においても、台湾のチップ輸出や韓国・ベトナムの携帯電話の輸出量が落ち込むなど、グローバル経済の成長が鈍化する可能性があるかとみています。運用チームは長期的な市場見通しに対して引き続き防御的かつよりネガティブな姿勢を維持しており、今後さらにボラティリティ(変動性)が高まるとみています。この様な中、全天候型商品といえるCBには、より防御的な資産クラスとしての投資妙味があると考えます。

CBの下落はその他市場よりも早く始まり、基礎となる株式は大きく下落しましたが、ほとんどの発行体は収益をあげています。CBが再び関心を得るには、良好な上昇追随力と下値抵抗力の回復かつ安定的な持続を見る必要がありますが、2022年上半年期以降改善傾向にあります。

最近、大手IT企業による発行が急増しており、特に長期債の取引が活発となっていますが、これら銘柄が下落しても、これらの企業においてCBの発行は行われておらず、CBのユニバースに影響を及ぼす可能性は軽微といえます。引き続きCBは依然売られ過ぎの状況にあると考えます。この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年5月11日~2023年5月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 4	% 0.030	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.026)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.005)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI: Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	4	0.030	
期中の平均基準価額は、12,377円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年5月11日～2023年5月10日)

新株予約権付社債（転換社債）

		買 付		売 付	
		額	金 額	額	金 額
国内		千円	千円	千円	千円
		90,000	94,565	77,000	85,480
外	アメリカ	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
		9,442	10,436	13,735 ( 325)	12,378 ( 325)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	500	499	900	734
	イタリア	—	—	200	142
	フランス	570	618	1,283	1,402
	オランダ	100	105	200	198
	スペイン	600	702	—	—
	オーストリア	100	100	—	—
	ルクセンブルク	200	217	—	—
その他	300	324	800	803	
国	イギリス	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド
		—	—	100	65
	スイス	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン
		400	506	240	336
	香港	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル
	2,000	2,271	4,000	4,137	
シンガポール	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千シンガポールドル	
	250	250	—	—	

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年5月11日～2023年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年5月10日現在)

国内新株予約権付社債（転換社債）

銘	柄	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
		千円	千円
GMO PMT GTW INC 0% 26/06/22		10,000	10,050
MERCARI INC 0% 28/07/14		20,000	13,720
DMG MORI CO LTD 0% 24/07/16		20,000	21,025
SOSEI GROUP COR 0.25% 26/07/27		20,000	27,125
NIPRO CORPORATION 0% 26/09/25		20,000	20,090
NIPPON STEEL CORP 0% 26/10/05		30,000	38,505
TRANS COSMOS INC 0% 26/12/14		20,000	20,825
KOEI TECMO HLDGS 0% 24/12/20		20,000	21,200
CYBERAGENT INC 0% 29/11/16		30,000	31,068
PARK24 CO LTD 0% 28/02/24		20,000	20,825
CYBERAGENT 0% 25/02/29		20,000	20,390
SCREEN HOLDINGS 0% 25/06/11		10,000	11,187
SHIP HEALTHCARE HOLD 0%23/12/13		20,000	20,237
ROHM CO LTD 0% 24/12/05		30,000	30,915
SBI HOLDINGS 0% 25/07/25		50,000	53,350
RELO GROUP INC 0% 27/12/17		30,000	29,137
MENICON CO LTD 0% 25/01/29		10,000	10,356
SENKO GROUP HOLDINGS 0%25/03/18		20,000	20,170
YAMAZEN CORPORATION 0% 26/4/30		20,000	21,057
合 計	額 面 金 額	420,000	441,235
	銘 柄 数 < 比 率 >	19	<11.7%>

(注) 評価額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

## 外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
BIOMARIN PHARMA 1.25%CB	200	206	27,908
DEXCOM INC 0.25% CB	464	490	66,315
SILICON LABORA 0.625% CB	70	83	11,287
DATADOG INC 0.125% CB	340	381	51,534
JAZZ INVESTMENTS 2% CB	200	213	28,888
ZSCALER INC. 0.125% CB	385	398	53,879
FIVE9 INC 0.5% CB	150	134	18,194
ETSY INC CONV 0.125% CB	100	85	11,555
NICE LTD 0% CB	229	209	28,287
STRIDE INC 1.125% CB	94	96	13,053
LCI INDUSTRI 1.125% CB	48	44	5,955
BILL.COM HOLDINGS 0% CB	355	348	47,114
BLOCK INC 0.125% CB	250	234	31,625
BOX INC 0% CB	70	83	11,243
NEXTERA ENERGY 0% CB	250	238	32,165
BENTLEY SYS 0.125% CB	202	196	26,617
ENPHASE ENERGY 0% CB	105	99	13,452
ENPHASE ENERGY 0% CB	153	142	19,321
CERIDIAN HCM 0.25% CB	36	31	4,211
SHIFT4 PAYMENTS 0% CB	254	263	35,598
NEXTERA ENERGY 0% CB	50	47	6,375
DROPBOX INC 0% CB	100	90	12,163
DROPBOX INC 0% CB	328	286	38,721
FORD MOTOR 0% CB	650	637	86,134
TYLER TECH 0.25% CB	200	203	27,489
M/A-COM TECH 0.25% CB	110	102	13,833
SOLAREEDGE TECH 0% CB	260	326	44,064
IONIS PHARMACEU 0% CB	100	92	12,442
PROGRESS SOFTWARE 1% CB	150	158	21,458
HUBSPOT INC 0.375% CB	90	147	19,966
ZILLOW GROUP 0.75% CB	115	140	18,922
BURLINGTON 2.25% CB	175	189	25,587
OMNICELL INC 0.25% CB	115	111	15,068
SEA LTD 2.375% CB	230	276	37,348
ZILLOW GROUP 1.375% CB	100	124	16,799
CONMED CORP 2.25% CB	79	84	11,370
SUNNOVA ENERGY 0.25% CB	250	181	24,529



銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
MIDDLEBY CORP 1.0% CB	150	186	25,218
CHINA HONGQIAO 5.25% CB	200	250	33,861
BENTLEY SYS 0.375% CB	164	142	19,261
LENOVO GROUP 2.5% CB	300	329	44,589
SUNNOVA ENERGY 2.625%CB	30	22	3,054
ALNYLAM PHARMA 1% CB	183	185	25,026
SAREPTA THERAP 1.25% CB	200	230	31,168
NUTANIX INC 0.25% CB	100	83	11,230
ORMAT TECH 2.5% CB	100	112	15,265
CYTOKINETICS 3.5% CB	75	77	10,440
WOLFSPEED INC 1.875% CB	350	240	32,567
NCL CORP 1.125% CB	100	74	10,102
MARRIOTT VACA 3.25% CB	25	24	3,263
LANTHEUS HLD 2.625% CB	90	131	17,713
AXON ENTERPRISE 0.5% CB	200	235	31,868
HALOZYME THER 1.0% CB	125	107	14,475
PARSONS CORP 0.25% CB	100	109	14,839
INSMED INC 0.75% CB	75	61	8,343
WOLFSPEED INC 0.25% CB	250	171	23,178
ON SEMICONDUCTOR 0.5%CB	383	392	53,056
SOUTHERN CO 3.875% CB	75	77	10,526
WYNN MACAU 4.5% CB	200	223	30,178
INTEGER HLDGS 2.125% CB	75	83	11,332
MARRIOTT VACATION 0% CB	100	95	12,893
SK HYNIX 1.75% CB	200	208	28,138
L&F CO LTD 2.5% CB	200	179	24,259
DEXCOM INC 0.375% CB	67	68	9,199
BIOMARIN PHAR 0.599% CB	100	102	13,894
EXACT SCIENCES 1% CB	100	116	15,762
JAZZ INVEST 1.5% CB	200	190	25,780
EXACT SCIENCES 0.375% CB	225	213	28,906
AKAMAI TECHNOL 0.125% CB	300	304	41,128
BLOCK INC 0.5% CB	125	125	16,940
SPLUNK INC 1.125% CB	100	94	12,798
J2 GLOBAL 1.75% CB	75	69	9,350
BHARTI AIRTEL 1.5% CB	200	263	35,626
EURONET WORLD 0.75% CB	18	17	2,364
SOUTHWEST AIR 1.25% CB	250	266	36,059
ZHEN DING TECH HLD 0% CB	200	198	26,766

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
AMERICAN AIRLINES6.5% CB	150	171	23,171
STMICROELECTRO 0% CB	200	222	30,129
STMICROELECTRO 0% CB	200	225	30,513
AKAMAI TECHNO 0.375% CB	50	46	6,301
ESR CAYMAN 1.5% CB	200	195	26,408
ETSY INC CONV 0.125% CB	227	287	38,870
INSULET CORP 0.375% CB	55	82	11,166
LIBERTY MEDIA 0.5% CB	150	154	20,856
CYBERARK SOFTWARE 0% CB	300	325	44,015
QIAGEN NV 0% CB	600	543	73,478
LUMENTUM HOLD 0.5% CB	350	295	39,899
MONGODB INC 0.25% CB	360	489	66,132
LIVE NATION ENTER 2% CB	90	90	12,260
ASAHI REFINING 0% CB	100	88	11,947
小 計	額 面 金 額	16,099	16,471
	銘 柄 数 < 比 率 >	90	—
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	千円
RAG-STIFTUNG 1.875% CB	100	104	15,487
RHEINMETALL 2.25% CB	100	110	16,393
RHEINMETALL 1.875% CB	200	215	31,995
DEUTSCHE POST 0.05% CB	200	193	28,680
RAG-STIFTUNG 0% CB	300	278	41,208
DEUTSCHE LUFT 2% CB	100	116	17,198
小 計	額 面 金 額	1,000	1,018
	銘 柄 数 < 比 率 >	6	—
(ユーロ・・・イタリア)	千ユーロ	千ユーロ	千円
DIASORIN SPA 0% CB	200	158	23,559
NEXI SPA CONV 1.75% CB	100	86	12,830
PIRELLI & C SPA 0% CB	100	100	14,861
PRYSMIAN SPA 0% CB	300	316	46,934
小 計	額 面 金 額	700	662
	銘 柄 数 < 比 率 >	4	—
(ユーロ・・・フランス)	千ユーロ	千ユーロ	千円
SAFRAN SA 0% CB	165	159	23,595
UBISOFT 2.375% CB	100	101	15,059
SPIE SA 2.0% CB	100	104	15,450
WENDEL SE 2.625% CB	100	98	14,645
SAFRAN SA REGS0.875% CB	151	203	30,145
SELENA CONV REGS 0% CB	200	185	27,497

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・フランス)	千ユーロ	千ユーロ	千円
SOITEC 0% CB	69	71	10,564
SCHNEIDER ELECTRIC0% CB	243	258	38,302
ACCOR SA CONV 0.7% CB	189	182	27,003
小 計	額 面 金 額 1,319	1,364	202,266
	銘 柄 数 < 比 率 >	9	<5.3%>
(ユーロ・・・オランダ)	千ユーロ	千ユーロ	千円
AMERICA MOVIL 0% CB	500	539	80,003
小 計	額 面 金 額 500	539	80,003
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<2.1%>
(ユーロ・・・スペイン)	千ユーロ	千ユーロ	千円
INTL CON AIR 1.125% CB	100	82	12,254
CELLNEX TELECOM 1.5% CB	300	387	57,428
IBERDROLA FINAN 0.8% CB	100	101	15,039
CELLNEX TELECOM 0.5% CB	400	431	63,936
AMADEUS IT GROUP 1.5% CB	200	245	36,320
小 計	額 面 金 額 1,100	1,247	184,978
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	<4.9%>
(ユーロ・・・ベルギー)	千ユーロ	千ユーロ	千円
UMICORE SA CONV 0% CB	100	90	13,367
小 計	額 面 金 額 100	90	13,367
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<0.4%>
(ユーロ・・・オーストリア)	千ユーロ	千ユーロ	千円
VOESTALPINE 2.75% CB	100	99	14,786
小 計	額 面 金 額 100	99	14,786
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<0.4%>
(ユーロ・・・ルクセンブルク)	千ユーロ	千ユーロ	千円
LAGFIN SCA 2% CB	200	248	36,835
OLIVER CAPITAL 0% CB	100	105	15,586
小 計	額 面 金 額 300	353	52,421
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	<1.4%>
(ユーロ・・・その他)	千ユーロ	千ユーロ	千円
FOMENTO ECONO 2.625% CB	100	106	15,818
GEELY SWEDEN FIN 0% CB	100	136	20,202
ANLLIAN CAPITAL 0% CB	400	426	63,190
小 計	額 面 金 額 600	669	99,211
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	<2.6%>
ユ ー ロ 計	額 面 金 額 5,719	6,045	896,185
	銘 柄 数 < 比 率 >	32	<23.7%>

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(スイス) SIKA AG 0.15% CB	千スイスフラン 160	千スイスフラン 211	千円 32,105
小 計	額 面 金 額 160 銘 柄 数 < 比 率 > 1	211 —	32,105 <0.8%>
(香港) KINGSOFT CORP 0.625% CB CATHAY PACIFIC 2.75% CB	千香港ドル 2,000 2,000	千香港ドル 2,240 1,993	千円 38,626 34,359
小 計	額 面 金 額 4,000 銘 柄 数 < 比 率 > 2	4,233 —	72,985 <1.9%>
(シンガポール) STRAITS TRADING 3.25%CB SINGAPORE AIR 1.625% CB	千シンガポールドル 250 250	千シンガポールドル 226 272	千円 23,075 27,726
小 計	額 面 金 額 500 銘 柄 数 < 比 率 > 2	498 —	50,802 <1.3%>
合 計	額 面 金 額 — 銘 柄 数 < 比 率 > 127	— —	3,278,153 <86.6%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2023年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
新株予約権付社債(転換社債)	千円 3,719,388	% 97.6
コール・ローン等、その他	89,874	2.4
投資信託財産総額	3,809,262	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(3,302,109千円)の投資信託財産総額(3,809,262千円)に対する比率は86.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=135.15円、1ユーロ=148.23円、1スイスフラン=151.87円、1香港ドル=17.24円、1シンガポールドル=101.88円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年5月10日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	3,819,086,173	
コール・ローン等	72,848,905	
公社債(評価額)	3,719,388,284	
未収入金	19,576,273	
未収利息	6,658,557	
前払費用	614,154	
(B) 負債	33,954,548	
未払金	33,947,565	
その他未払費用	6,983	
(C) 純資産総額(A-B)	3,785,131,625	
元本	3,019,878,388	
次期繰越損益金	765,253,237	
(D) 受益権総口数	3,019,878,388口	
1万口当たり基準価額(C/D)	12,534円	

[元本増減]

期首元本額	3,403,927,554円
期中追加設定元本額	229,812,588円
期中一部解約元本額	613,861,754円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュローダー・グローバルCBファンド(少数私募) 為替ヘッジあり	1,326,406,778円
シュローダー・グローバルCBファンド(少数私募) 為替ヘッジなし	1,693,471,610円

○損益の状況 (2022年5月11日~2023年5月10日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	19,371,851	
受取利息	19,427,771	
その他収益金	9,421	
支払利息	△ 65,341	
(B) 有価証券売買損益	162,624,484	
売買益	427,226,698	
売買損	△264,602,214	
(C) 保管費用等	△ 1,175,903	
(D) 当期損益金(A+B+C)	180,820,432	
(E) 前期繰越損益金	679,160,377	
(F) 追加信託差損益金	52,429,627	
(G) 解約差損益金	△147,157,199	
(H) 計(D+E+F+G)	765,253,237	
次期繰越損益金(H)	765,253,237	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

# ニッセイマネーマーケット マザーファンド

## 運用報告書

### 第 23 期

(計算期間：2022年10月18日～2023年4月17日)

#### 運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

#### 主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

#### 運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。  
・外貨建資産への投資は行いません。



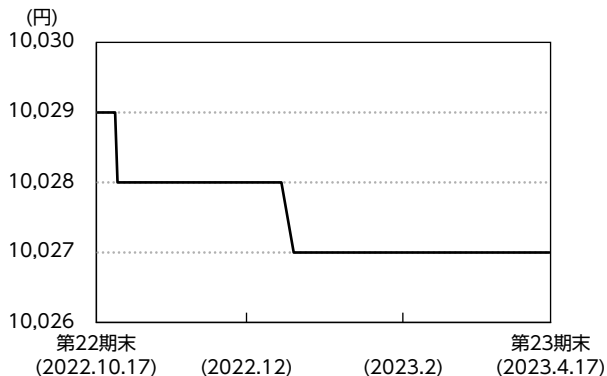
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

## 運用経過

2022年10月18日～2023年4月17日

### 基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

#### ■ 基準価額の主な変動要因

##### <上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

##### <下落要因>

- ・前期末以降、無担保コールレート翌日物のマイナス金利等が影響したこと

### ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

### ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

## 今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
19期 (2021年 4月15日)	10,029	△0.0	77.5	50
20期 (2021年10月15日)	10,030	0.0	69.5	50
21期 (2022年 4月15日)	10,029	△0.0	69.5	50
22期 (2022年10月17日)	10,029	0.0	79.4	50
23期 (2023年 4月17日)	10,027	△0.0	89.9	706

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2022年10月17日	10,029	—	79.4
10月末	10,028	△0.0	59.6
11月末	10,028	△0.0	59.5
12月末	10,028	△0.0	70.6
2023年 1月末	10,027	△0.0	71.7
2月末	10,027	△0.0	70.1
3月末	10,027	△0.0	68.4
(期末)2023年 4月17日	10,027	△0.0	89.9

(注) 騰落率は期首比です。



1万口当たりの費用明細

2022年10月18日～2023年4月17日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	0円	0.000%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,027円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2022年10月18日～2023年4月17日

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	14,014	—
	地方債証券	311,009	—
	特殊債券	301,574	(30,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2022年10月18日～2023年4月17日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
千円		千円	
第132回 共同発行市場公募地方債	155,957	—	—
平成30年度第2回 北海道公募公債（5年）	155,051		
第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	100,619		
第26回 政保日本政策金融公庫債券	100,528		
第49回 政保地方公共団体金融機構債券	100,427		
第1121回 国庫短期証券	14,014		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

## 組入有価証券明細表

2023年4月17日現在

## 国内（邦貨建）公社債

区分	額面金額	評価額	組入比率	当期末				
				うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	%
国債証券	14,000 ( 14,000)	14,009 ( 14,009)	2.0 ( 2.0)	—	—	—	—	2.0 ( 2.0)
地方債証券	320,000 (320,000)	320,968 (320,968)	45.4 (45.4)	—	—	—	—	45.4 (45.4)
特殊債券 (除く金融債券)	300,000 (300,000)	300,773 (300,773)	42.6 (42.6)	—	—	—	—	42.6 (42.6)
合計	634,000 (634,000)	635,751 (635,751)	89.9 (89.9)	—	—	—	—	89.9 (89.9)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ( )内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

## (国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
国債証券	第1121回 国庫短期証券	—	2023/11/20	14,000	14,009
	小計	—	—	—	14,009
地方債証券	平成30年度第2回 北海道公募公債(5年)	0.0300	2023/ 5 /31	155,000	155,014
	第374回 大阪府公募公債	0.9380	2023/ 7 /28	10,000	10,026
	第132回 共同発行市場公募地方債	0.6600	2024/ 3 /25	155,000	155,928
	小計	—	—	—	320,968
特殊債券 (除く金融債券)	第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.6990	2023/10/31	100,000	100,390
	第49回 政保地方公共団体金融機構債券	0.8820	2023/ 6 /16	100,000	100,146
	第26回 政保日本政策金融公庫債券	0.9110	2023/ 7 /19	100,000	100,236
	小計	—	—	—	300,773
	合計	—	—	—	635,751

## 投資信託財産の構成

2023年4月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	635,751	89.9
コール・ローン等、その他	71,405	10.1
投資信託財産総額	707,157	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## ニッセイマネーマーケットマザーファンド

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年4月17日現在)

項目	当期末
<b>(A)資産</b>	<b>707,157,019円</b>
コ ー ル ・ ロ ー ン 債 (評価額)	70,979,907
公 社 債 (評価額)	635,751,552
未 収 利 息	302,240
前 払 費 用	123,320
<b>(B)負債</b>	<b>323,519</b>
未 払 解 約 金	323,355
そ の 他 未 払 費 用	164
<b>(C)純資産総額(A-B)</b>	<b>706,833,500</b>
元 本	704,956,153
次 期 繰 越 損 益 金	1,877,347
<b>(D)受益権総口数</b>	<b>704,956,153口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C/D)</b>	<b>10,027円</b>

(注1) 期首元本額 50,381,791円  
 期中追加設定元本額 700,353,019円  
 期中一部解約元本額 45,778,657円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)	49,952,679円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	9,994円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・通貨ヘッジあり)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・高替ヘッジあり)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・高替ヘッジなし)	9,977円
J P X 日経400アクティブ・オープン米ドル投資型	9,976円
J P X 日経400アクティブ・プレミアム・オープン(毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(年2回決算型)	9,974円
ニッセイ/MF S 外国株低ボラティリティ運用ファンド	9,967円
ニッセイ A   関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイ A   関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型)	9,968円
D C ニッセイターゲットデットファンド 2 0 2 5	654,584,564円
ニッセイ/コムジエスト新興成長株ファンド(資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジエスト新興成長株ファンド(年2回決算型)	9,969円
ニッセイ A   関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ A   関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(資産成長型)	9,972円
限定追加型・繰上償還条項付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド(為替ヘッジあり)	9,973円
限定追加型・繰上償還条項付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド(為替ヘッジなし)	9,973円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2023-02(為替ヘッジあり・限定追加型)	9,974円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

### 損益の状況

当期 (2022年10月18日~2023年4月17日)

項目	当期
<b>(A)配当等収益</b>	<b>860,754円</b>
受 取 利 息	882,935
支 払 利 息	△ 22,181
<b>(B)有価証券売買損益</b>	<b>△ 957,608</b>
売 買 損 益	△ 957,608
<b>(C)信託報酬等</b>	<b>△ 1,213</b>
<b>(D)当期損益金(A+B+C)</b>	<b>△ 98,067</b>
<b>(E)前期繰越損益金</b>	<b>143,762</b>
<b>(F)追加信託差損益金</b>	<b>1,955,725</b>
<b>(G)解約差損益金</b>	<b>△ 124,073</b>
<b>(H)合計(D+E+F+G)</b>	<b>1,877,347</b>
<b>次期繰越損益金(H)</b>	<b>1,877,347</b>

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。